



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月30日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 敬彦
 問合せ先責任者 (役職名)理事経理室長 (氏名)浜辺 昭彦 (TEL)03(6837)9304
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,708	5.7	1,190	6.4	1,390	5.2	962	△81.6
2018年3月期第3四半期	12,967	2.4	1,118	△0.2	1,322	12.0	5,241	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	196.84	—
2018年3月期第3四半期	1,071.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	29,550	19,995	67.7
2018年3月期	29,202	19,460	66.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 19,995百万円 2018年3月期 19,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	30.00	—
2019年3月期	—	30.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2 2018年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 特別配当 4円00銭
 3 2018年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭
 4 2017年10月1日付で、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しており、2018年3月期の1株当たり期末配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当合計は、「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当額は70円となります。

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	4.7	1,200	△21.4	1,400	△17.8	1,000	△81.6	204.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	4,900,000株	2018年3月期	4,900,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	8,471株	2018年3月期	8,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	4,891,530株	2018年3月期3Q	4,891,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示の変更）

第1四半期会計期間から日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6
(追加情報)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、相次ぐ自然災害の影響があったものの、企業収益の改善により設備投資は底堅く推移し、個人消費も緩やかに回復するなど、景気は回復基調が続きました。一方、海外経済は米中貿易摩擦の長期化による不確実性の高まりや新興国の景気減速などが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は医薬品及び電子材料関連需要が堅調に推移し、化成品関係では関連需要が上期までの落ち込みから緩やかに回復しつつあります。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、コスト削減に注力し、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ5.7%増収の137億8百万円となりました。利益面におきましては、原料価格上昇の影響がありましたが、利益率の高いファイン製品の販売数量増加などにより、営業利益は11億90百万円（前年同四半期比6.4%増）、経常利益は13億90百万円（前年同四半期比5.2%増）、四半期純利益は9億62百万円（前年同四半期比81.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、棚卸資産が増加しましたが、売掛金及び預け金が減少し、前事業年度末に比べ2億37百万円減少の146億59百万円となりました。

固定資産は、ファイン製品製造設備の増強などにより、前事業年度末に比べ5億85百万円増加の148億90百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ3億47百万円増加し、295億50百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金及び設備関係未払金が増加しましたが、未払法人税等が減少し、前事業年度末に比べ1億500百万円減少の66億28百万円となりました。

固定負債は、その他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債の減少などにより、前事業年度末に比べ36百万円減少の29億26百万円となりました。

この結果、負債合計は95億54百万円となり、前事業年度末に比べ1億86百万円減少しました。

(純資産)

純資産は、199億95百万円となり前事業年度末に比べ5億34百万円増加となりました。自己資本比率は前事業年度末の66.6%から1.1ポイント増加し、67.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2018年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360	394
売掛金	5,311	4,807
商品及び製品	2,830	2,839
仕掛品	891	1,404
原材料及び貯蔵品	842	1,078
預け金	4,100	3,700
その他	561	436
流動資産合計	14,897	14,659
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,059	5,891
機械及び装置（純額）	3,227	3,454
建設仮勘定	593	1,181
その他（純額）	1,442	1,450
有形固定資産合計	11,322	11,978
無形固定資産	42	97
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,944	2,818
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,940	2,814
固定資産合計	14,304	14,890
資産合計	29,202	29,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,840	3,530
短期借入金	830	830
未払法人税等	1,332	414
賞与引当金	134	-
設備停止引当金	323	-
その他	1,318	1,853
流動負債合計	6,778	6,628
固定負債		
退職給付引当金	1,782	1,824
その他	1,180	1,101
固定負債合計	2,962	2,926
負債合計	9,741	9,554

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	14,169	14,838
自己株式	△13	△13
株主資本合計	18,049	18,719
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,411	1,275
評価・換算差額等合計	1,411	1,275
純資産合計	19,460	19,995
負債純資産合計	29,202	29,550

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	12,967	13,708
売上原価	9,785	10,428
売上総利益	3,182	3,280
販売費及び一般管理費		
発送費	292	254
給料手当及び賞与	648	697
退職給付費用	49	49
試験研究費	615	638
その他	457	450
販売費及び一般管理費合計	2,064	2,090
営業利益	1,118	1,190
営業外収益		
受取配当金	51	53
受取補償金	145	131
為替差益	7	45
雑収入	15	10
営業外収益合計	220	240
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産除却損	11	31
雑損失	0	5
営業外費用合計	16	40
経常利益	1,322	1,390
特別利益		
設備停止引当金戻入額	-	14
大阪工場譲渡関連損益	6,371	-
特別利益合計	6,371	14
特別損失		
控除対象外消費税等	70	-
固定資産整理損失	53	-
100周年記念事業費	27	-
特別損失合計	151	-
税引前四半期純利益	7,542	1,404
法人税等	2,301	442
四半期純利益	5,241	962

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。